

20 陳情 第 12 号	「犬の排泄物を路上からなくそう、新宿区民による公開討論会」の設置を要求する陳情
付託委員会	環境建設委員会
受理及び付託 年 月 日	平成20年3月10日受理、平成20年3月12日付託
陳情者	新宿区住吉町 _____

(要 旨)

「動物用携帯便器を、犬を散歩させる時は携帯すること」を「空き缶等の散乱及び路上喫煙による被害の防止に関する条例」に追加する方向で「犬の排泄物を路上からなくそう、新宿区民による公開討論会」の設置を要求する。

(理 由)

犬を散歩させている情景はよく目にすると思う。しかし、犬が排泄する大便と小便をしっかり始末していく人間は皆無である。大便を路上にさせて拭き取っていく人間はいるが、それは余りにも失礼な話である。大便を拭き取っても大便は路上に残っている。小便に関しては誰も始末していない。私としては犬の散歩を禁止してもらいたいところだが、百歩譲って動物用携帯便器を、犬を散歩させる時は携帯するのが正しい行儀・作法ではないだろうかと考える。路上喫煙禁止で環境保全課前係長は、「マナーに期待している」と私に発言した。マナーという言葉を使っている。マナーとは行儀・作法の意味である。喫煙者に行儀・作法を期待したのである。私も犬を散歩させる人間に行儀・作法を期待したい。路上喫煙禁止には喫煙派である私も大賛成である。

犬が好きな人間もいれば嫌いな人間もいるのである。これは路上喫煙とある点で似ている。煙草を吸っている人間の傍に居たくないのが嫌煙派である。受動喫煙させられ健康に害があるからである。喫煙派の私でも他人の煙草の煙は吸いたくない。犬の排泄物を見たり、踏んだりした嫌犬派も精神的な健康を害されるし、犬の糞が乾燥し空中に飛散し、それによって身体的健康を害される可能性もあるのである。愛犬家の人間には嫌犬派の気持ちは理解しがたいかもしれない。愛犬派の人間は皆が犬が好きだと勘違いしている場合もある。だから図々しく犬を公道で散歩させていると思っても仕方が無い。路上喫煙禁止を条例に定めているのであれば、「動物用携帯便器を、犬を散歩させる時は携帯すること」を「空き缶等の散乱及び路上喫煙による被害の防止に関する条例」に追加する方向で「犬の排泄物を路上からなくそう、新宿区民による公開討論会」の設置を要求しても決して不自然ではない。設置にあたっては、全て日本語で表記してもらいたい。例えば「フォーラム」という表現を路上喫煙の時は使っていたようだが、それはまずい、意味がわからない。「フォーラムディスカッション」だと思うが、フォーラムだけでは正確な意味が伝わらない。